

2008 パーマカルチャーデザインコース in 玉名市石貫

第6回 8月30日(土)、31日(日)

講座会場:石貫第二区公民館、ちゃぶ台、徳永家大イチョウの木の下

講師:橋爪 健聳、デジャーデン・ゆかり

参加者 麻生さん、常富さん、波多野さん、井上さん、徳永さん、長瀬さん、前田さん、

陶山さん、武田さん、深見さん、福嶋さん、野口さん、小野さんご夫妻、カタリン(徳永さん woofers さん)、梅林さん、大先さん、旭さん、吉村さん、大宅さん、山口家お子さん、波多野家お子さん、デジャーデン家お子さん

事務局:山口さんご夫妻、松下、赤星

#### スケジュール

8月30日

1時30分 ファームステーション庄屋集合

2時~2時30分 オリエンテーション・復習

2時30分~4時 自然エネルギー(橋爪)

4時~4時30分 休憩

4時30分~6時 自然エネルギー(橋爪)

6時~8時 お風呂・夕食

8時~10時 パーマカルチャーガーデニング・イントロダクション

何も無いところからガーデンを始めるには???

(デジャーデン・ゆかり)

8月31日

6時~8時 デザイン実習(デジャーデン・ゆかり)

8時~9時 食事

9時~10時30分 パーマカルチャー・デザイン講義、緑肥、接縁、微気象

(デジャーデン・ゆかり)

10時30分~11時 休憩

11時~12時30分 ノーディッグガーデン(不耕機ガーデン)作り

(デジャーデン・ゆかり)

12時30分~1時30分 昼食

1時30分~3時 バルコニーなど土を入れてはいけない場所、狭い場所でのパーマカルチャー・ガーデニング、その実例と実習。

(デジャーデン・ゆかり)

3時~3時30分 振り返り

夕食後、プレレクチャー

20:20～

馬場さんからダンボールコンポストのお話

20:30～

ゆかりさんから、うじ虫をわかせずにダンボールコンポストをする方法

オーストラリア:普通のダンボールとワックスをかけてあるダンボールがある

うじ虫をわかせないためには、炭素源、窒素源、水分のバランスが大事

21:00～

自分の家にどんなエネルギーが来ているか知ってる？またどここの発電所から来ているか？

みんな知らない・・・

- ・ 調べてみるのは簡単  
それは水でも、エネルギーでも
- ・ 食育、自然食大事だけど、空気、熱、水がないと食物はできない

自分たちがコントロールできないエネルギー

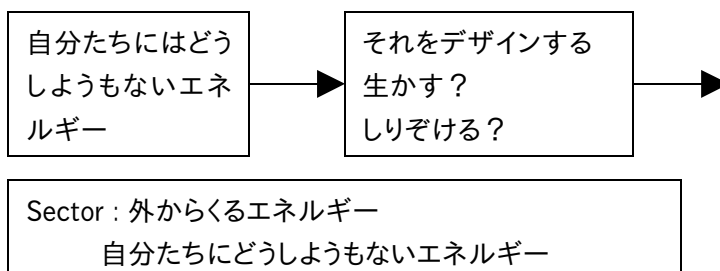
マクロな視点で見つめなおす

なぜ雨が降るのか？

[何もないところからガーデンをつくるには]

- ・PC は観察が非常に大事  
場所や季節は問わない

○まず観察を始める



1. Sector をまず記録

- ・ 太陽(季節による位置)、月の光、季節風などなど  
同じ場所から1年を通して観察してみる  
風がどっちからくるか？

自分たちに都合のいいようにどうデザインするか？

地球、自然を後援会長につけたい

Sector デザイン・・・観察してみてもはじめて分かる

- ・ 何かしら土地があるとする  
ゆかりさんの自宅の Sector デザインのプリントを見ながら

写真、絵、記録する → 次の人にとってのテキスト、教科書になる

良い風が通る、太陽の光 → 良い虫が来る

人間と同じ → よい光は(日本では南)

南 → 南東 → 東

食物にとって良い光が得られる

朝の光が一番いい

西日はきつい・・・食物も眠りにつく準備をする

昼、正午→午後にかけてやさしい風が通る方がよい

野菜畑は可能な限り自分の家に近い所に

さらに、水に近いところ(水のアクセス)

いざ、始めようとするときよく考えることがある

1年を通して → サステナブルなデザインになる  
(時間をかける)

2. 影響を及ぼす可能性があるものを観察
  - ・ 建物(太陽が移ると影が移る)
  - ・ 野生動物
  - ・ pH
  - ・ etc・・・

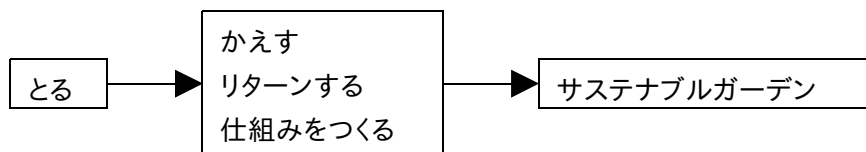
作物を育てるのは一番最後

簡単なこと

↓  
自分たちでコントロールできる

水が止まったら → 水分を保っておく、どう循環してできるようにするか

ダンボールコンポスト



### 3. サイズ

最初に見極める必要がある

- ・ どれくらいつくる(1人なら作りすぎるのはもったいない)  
必要以上つくらない
- ・ 家族構成
- ・ 目的  
商業(売る目的)  
教育のため  
自給のため
- ・ 何人の人が出入りするか?
- ・ 時間をどれくらいかけれるか?  
1週間に2hでできるガーデンもある  
ライフスタイルに合わせて
- ・ 動物を入れるか  
犬、猫、ペット(家族だから)
- ・ 1年草(1年たったら朽ちていく)
- ・ 多年草  
%を考慮する  
可能な限り多年草を入れる

勝手に育っていつてくれる

子孫を残していつてくれる

じぶんが住んでいる地域のもの。在来種  
山菜なども含め

1, 2, 3 やって、はじめてガーデンができる

- ・ 1日中太陽 → かげをつくる
- ・ 1日中かげ → 光を呼び込む  
かげでもできる野菜にする
- ・ 自分の好みでやる

サステナブルがキー

キーポイント

- ・ 接縁(エッジ)

2つの違う要素が交わる部分

ここを最大限に生かすデザイン

1 両方の性質持っていて(豊か)

2 それぞれの特有の性質もある

例) 砂漠

石の下(温度が少し下がる)

↑ 微生物がくる

コラボ } 新たな微生物が住める環境ができる

日の光にいる微生物

接縁を生かすと微気象ができる

3 生命力

4 多様性にあふれる

スパイラルガーデン・・・PCの基本的なデザイン

石、一つひとつ形、大きさが違う

それぞれで接縁ができる

微気象ができる

光の当たり方が全種類ある

右を向くと細かな微気象ができる → 多様性が非常に大事

多くの種類を混植できる

たくさん植えられる(盛り土なので)

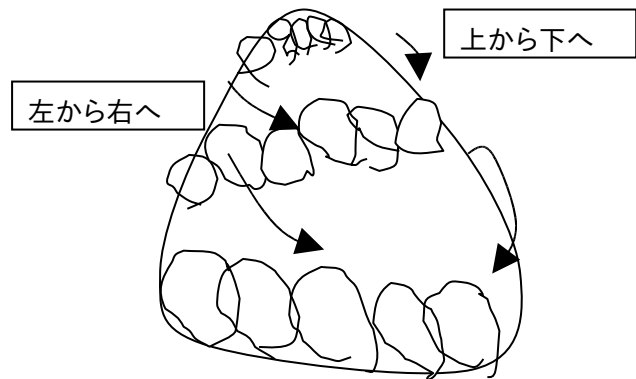
輪作障害起きにくい

輪作が自然とできやすい

・高土

・自然にローテーションする

・馬も来る



21:40～

ガーデンデザインの例

今まで徳永さん宅でデザインは？

山口:マンダラガーデン → 放射線状になる、絵に見える

スパイラルガーデン

自然をよく観察するとまっすぐなものはほとんどない → 曲線が非常に多い

人間が作ったものしかない

・プラネタリウム

・ドームハウス

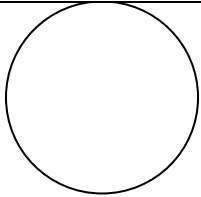
心地よかったりする → 植物にとっても同じ

DNAレベルで丸や曲線は響く形

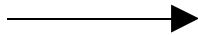
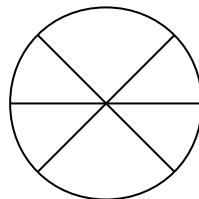
日本家屋には丸みが入っている

人間の形にも

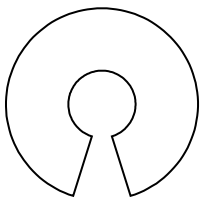
サークルガーデン



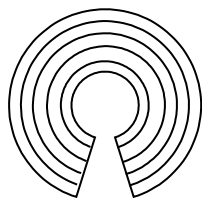
植え方



キーホールガーデン

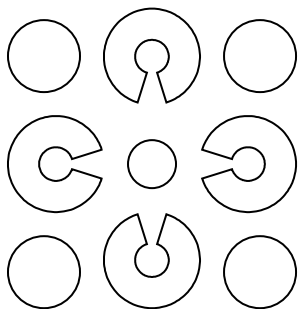


植え方もいろいろできる



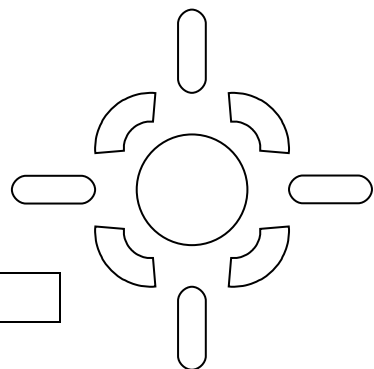
- ・ レインボー
- ・ 花柄など

マンダラガーデン



見て楽しい

象徴的なガーデンになる

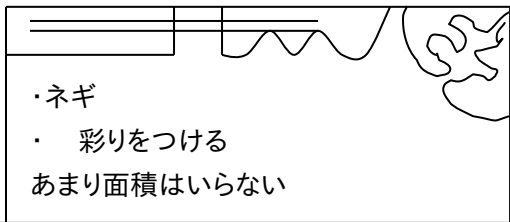


既にいろいろな植物が植わっているとしたら・・・

葉脈の形のガーデン

コーナーを利用する

建物のきわ



明日は不耕起ガーデンにする

- ・ 土がいろいろな状況がある
- ・ 女、子供ばかりだと力がある

↓

楽（力がいらぬ）

言い方がいろいろある

- ・ ノーディックガーデン
- ・ 高床式ガーデン
- ・ 上げ底ガーデン

人間 → 植物も同じ

- ・ 炭素のものが多（表面）
- ・ 窒素が多い（中に入っていくと）

森とおなじ状況

高さをつくる（縦型ガーデン）

↓

いろいろな状況をつくる

- ・ トンネル型
- ・ ティピ型
- ・ あみ型
- ・ 吊り下げ型

虫がいないガーデンはない → 人間にとって良いバランスをつくる

ベランダでも同じ

植木鉢でやる人もいる

麻生：以前直径4 m くらいのマンダラガーデンを・・・

ゆかり：だいたい1 m くらいあればよい

高さは何 cm くらいだった？高さが低かったのでは？

・ 石を置く → 石に限らず、沖縄ならサンゴ

木を置いたり

石は風化スピードが遅い

→ 作り直さなくてよい

自然に近い状況ほど朽ちるのが早い

ダイヤモンド・・・もともと炭素

炭素を固定化することにもつながる

・年月たてば変わる

2〜3年ごとにメンテナンスも必要(同じような機能を求めるのであれば)

→ 土をなおす、石の位置をなおすなど

ただし、可能な限り自然にまかせ、自分が心地よいように

楽だから長く続く、6〜7割でOKとする → またやりたくなる

・ 常に楽な方法を考える

無駄のない動きで最大限の仕事ができる方法を工夫する

明日、徳永さん宅で

1. ガーデンを作る準備をする

→ なるべくそこにあるもので

2. 不耕起ガーデンづくり

3. 種を植える

苗を植える

移植する → ちょっとした工夫がある

4. ベランダの場合はどうする

話よりも実際にやる方を、実践する方を優先したい

実際にやるのが一番いいと思う、分かりやすい

～ 22:05 終了

ちゃぶ台から徳永さん宅に戻り、

希望者だけで DVD 上映会

ゆかりさんが日本語訳された「」

31日(日)

6:00～朝食～昼食まで

キーホールガーデンづくり

草刈りから始まり、不耕起マルチ(むしろ、米袋、木くず)、木の端材でキーホールの形の枠づくり、  
窒素→炭素→窒素→炭素になるように、刈り取った草→腐植土→稲わら、秋野菜、お花を混植

ゆかりさん、参加者の方による踊りと即席 pcnq 楽団による演奏で、豊穰祈願

13:45～

講座 銀杏の樹の下で

レビュー、おさらい

1 草刈り

つゆくさ、背が高い

2 サークルを描いた

おがくず、小麦粉で線を描く

全体を見る、感じてみる、これでよいか

中に手が届くか

中に入ってみる

→ 違ったら、そこでなおす

3 まず、入口を一つ作った → 1番近い所に

→ それから2つ目の入り口も作った

高床式を真ん中に

崩れないように木を打って

隙間がないように、くずれないようにしっかり手直した

→ 徳永さん、これから崩れたりするような所も観察しておいてください

今後に生かす

マルチ

- ・ 新聞紙
- ・ 厚紙
- ・ むしろ
- ・ 稲わらを使った  
→ 野菜などを植える場所に使う → すぐ腐れてくれるから

#### ポイント

- 1 惜しげなく重ねる
- 2 接縁を美しく、きわがばらばらにならないように

#### 真ん中の歩道に

- ・ ウッドチップス  
通路などには、クローバー、れんげ → 天然のマルチ  
まめ科の植物がいい 窒素源の供給源になる  
ただし、踏んだり、切ったりストレスを与えてあげる必要

#### 3 積層マルチ 土の状態に関係なく

1. 小枝、格子状(空気層をつくる) (炭素)
2. ツユクサ (窒素)
3. 腐植土、腐葉土(有機肥料、ミミズの糞でもよい)
4. カンナくず (炭素)  
湿気がない時は水をかける、モイスト状態にする
- 5.カボチャの蔓や葉っぱ (窒素)

自然界は多様 → システムも多才にしてい

- ・ 植物によって、ミネラルなど入れる
- ・ マルチ、ミミズの糞、有機物として使う  
ここにあるもので作る  
最初の段階で水をやっておく  
緑肥にする
- ・ ピーナッツ  
混植する植物、ソバ  
  
種を蒔くときは浅く

移植するときは深く

今日、ソバの見学に行った

○ 土の中の養分

- ・ ミネラル
- ・ 鉱物

マルチを作るとき

- ・ 養分を高めたいときは低く → すき込む、入れ込む
- ・ Volumeを増やしたいときは高く
- ・ すぐには増えれない

草取り → 朝行う

まくのは夕方

根は触らない、ストレスを与えない

不耕起ガーデンの利点

立って作業できる高さ

女性や子供に合わせれる

高いすガーデン

使う人に合わせたガーデン

高さが変えられる

水はけのよいものはタンク一つにする

トマト、カボチャ → 我が家ではすぐ食べる

コンポストから芽が出てくる 種が完全に腐食していない。

アクティベータとして

ゆかりさんが空輸してきた

腐植土 → セクシー 完全な腐植土ジェルのように、粘土でもなく土でもなく

ガーデンに適する土 粘土 20%、砂 40%、有機物を含むシルト 40%(完全な腐葉土 6%)

持ってきた完全な腐植土

6週間くらい経っているが、どれくらい持つか実験中

PCCJ → TAO

水蒸気を出していた → 微生物生きている

スポンジみたい・・・腐植土流れない。70%はキープしてくれている。

必要な時に必要な量が出ていく。

歩道について

大地に負担をかけない

- ・ 自然にかえる
- ・ 水が通りやすい
- ・ 足の負担がない

今後人がたくさん来るようであれば、レンガにしてもいいかもしれない。

- ・ ござ
  - ・ イモ袋
  - ・ 石
  - ・ コルク
- 都会でも十分使える。  
歩道にまく

徳永: いちようでもいいのか？

ゆかり: OK

幅を決める

- ・ 手押し一輪車が入るか？
- ・ 何人の人が行き来するか？

バルコニーガーデンについて

→ほとんどがプランターガーデン

ベランダの同じ場所に立って観察

観察しながらつくれる

水が出てくる → 水の通りをまず確認する → 排水口に流れるように誘導する

- ・ 受け皿

・ フィルターをひいておく

→ 工夫が必要

すべて同じように考える

里山や森をつくるようにつくってください

森づくりをベランダでやる

オオバコ、ドクダミ → 昔からあるもの。在来種がよい

馬でも、虫や鳥も微生物も集まってくる。

必ず在来種をいれておく

花やハーブを植える

そこに古来の

虫がやってくる → 受粉

水辺

バケツに水を入れてもよい

馬が水浴びできるように

水生の植物が生える → 植物を植える方がきれいになる

淡水の魚も入れてやる → ボウフラを食べる

マルチ

ビニールマルチ

九州これからはないと

レモングラス

シトラネーラ カットしてもカットしても生えてくる

花や野菜に緑肥をやる

麦とれとレンゲ

マルチいらない

麦をかえす

縦型

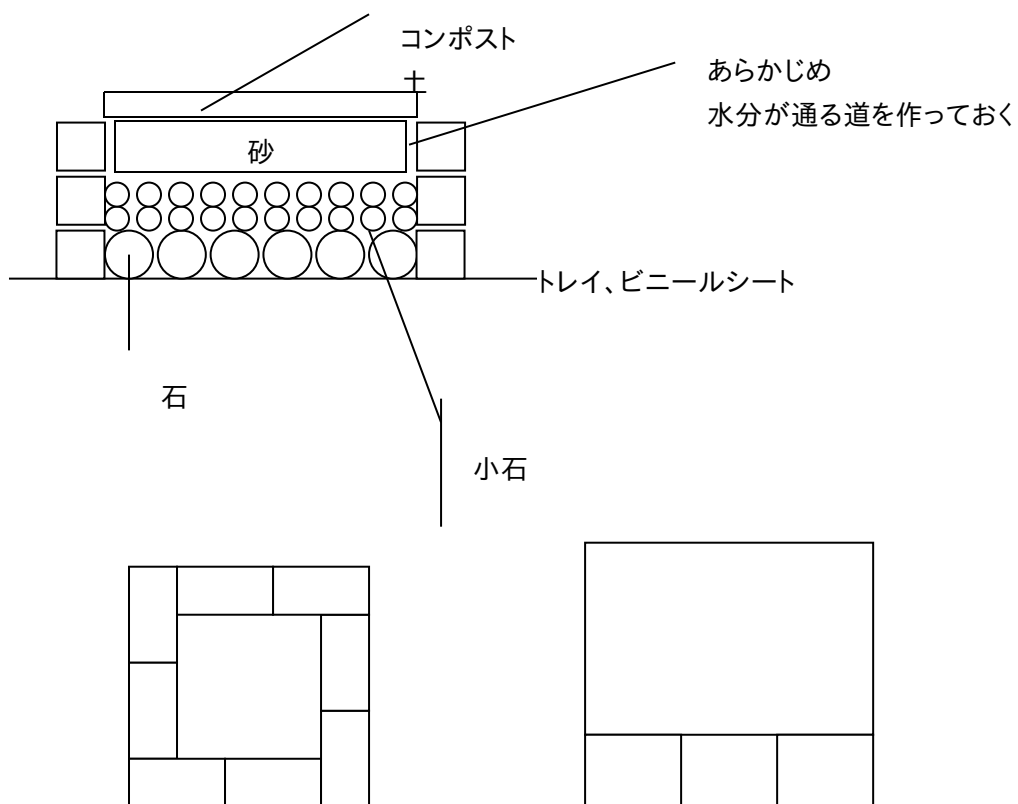
いんげん豆を

日かげをつくってやる → 微気象 有用

コンポスト

・真ん中に

ベランダガーデン



気 → 水 → 食

わんちゃん的小屋も考える

土(複合有機生命体)

森で学ぼう

炭素、落ち葉

オーストラリア

カフェ 移動式のコンテナガーデンをウェイトレスさんが持ってくる

緑肥、液肥

液肥

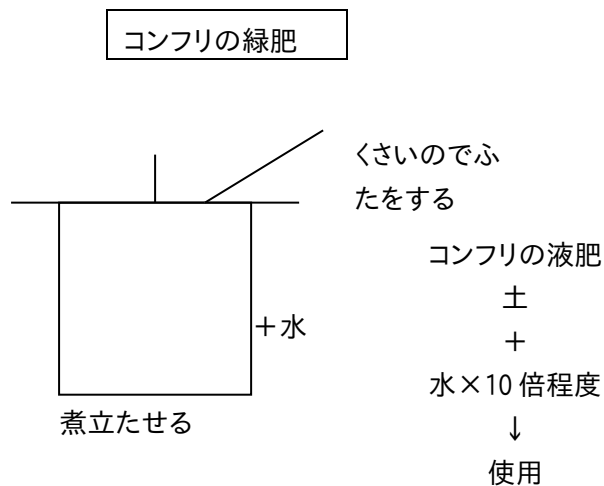
- ・ スギナ カビ 雨が降る前に葉にかける
- ・ タンポポ
- ・ カモミール
- ・ ハーブによって用途が違う

ぼかし・・・腐植土にとってもいい 日本で昔から使われている

ミミズの液肥・・・

コンフリ(ひれはりそう)

雑草の侵入を防ぐ



タンポポの葉

早朝に収穫、葉っぱと花

乾かす

呼吸の出来るかべをする → 冷暗所に置いておく3時間～10時間

200 mg                      2ℓ の水                      1.5 g タンポポ

よく話しかける。

直接、うすめずまく

雑草 → 土の状態を教えてくれる

カルシウム不足など

↓

生えてくる雑草が決まっている。

振り返り

15:45～

野口: 自分の中でコンポストの必要性がやっとわかった

サイクルがうまくまわらないと

徳永: 大変きたわれたのでまた痩せそう。これからは手を出さざるを得なくなった。橋爪先生昨日はいい話をありがとう。

前田: 原発の話を聞いて、CO2削減になっていないことが

昨日の夜、キーホールガーデンの説明1分だったが、実際やると大変

梅林: こうやればいいんだと考えながらやっていたので、すぐできそう。デザインを考えていきたい。

長い視点で2～3年

深見: 橋爪先生の話、原発良くない。ウラン鉱石全然よくない。

以前マンダラガーデン作ったが、最初の計画をきちんと考えておけばこうなったかも。段ボールコンポストやってみる。

常富: 自然エネルギーやりたい。小さい風車やりたい。

ゆかりさんの講義: みなさんの顔を見ながら話されている姿。女性には優しいな

小笠原。モンゴル遊牧民

武田: 原発の反対: たんだ反対するのではなく、イメージ、表現することが大切。

PCがどんなものか初めて分かった気がして、とてもありがとうございました。

: デンマークのホルケーセンターの民衆の環境活動に惹かれた。こういう集まり自体が自分もこういうところから学んでいきたい。

気→水→食の流れがいいなと思った。

松下: 30代の先生の姿に感動しました。ゆかりさん分かりやすく、来年の講師お願いしたい。

: PCの言葉を知って、1ヶ月前にゆかり先生に会って、今日からPCデビュー。

自然エネルギー、自分の家

カタリン: 参加させていただいてありがとうございました。

オーガニックファームにしたい。

波多野: ほとんど寝てました。橋爪先生の映像が印象的。一番最初の風車を見る橋爪先生の姿が素敵。哀愁がある。

ゆかりさんとは10日間一緒にいて、ゆかりさんと設楽さんのマネをやりたい。

福島: 前からエネルギーとゆかりさんの話楽しみにしていた。頭では考えていたが、具体的には考えられていなかった。自分の生活に取り入れていきたい。

雑草からできていく様子がこれからたくさん命を作っていけたらと思います。

麻生: 原発が嫌だというだけでなく、自分がメッセンジャーとして話して行きたい。

お話とワークが笑顔をずっと見ていた。完熟土がよかった。今日人数が多く、いろんな人が多く、でも食事大変だったが、裏でも手伝ってくださって

陶山: 原発知ることが大事だな。

実践で話も分かりやすく。明日から実践していきたい。

井上: やってて楽しく、見て楽しいキーホールガーデン

大先: 秋作をしていて、空気が大事だと聞いたが、今日ゆかりさんの話を聞いて納得した。

長瀬: プルサーマル頑張ってる活動している。ぶったのなげき、今まで来てた友達が連絡もなく来てくれなかった。PCを通して循環できる伝えていく立場になりたい。

ゆかりさん、素敵な女性で、素敵なテンションで素敵な出会いをありがとうございました。いろいろありがとうございました。

: 反核。反原発新聞を知る。思いを持ち続ける。

ゆかりさん、できる時、できることをやっていきたい。

山口: 水撃ポンプ見れてよかった。

ミズコンポスト、ゆかりさんから褒められてうれしかった。

山口さん奥さん: 子育てを通して、波多野家とデジャーデン家の様子が分かった。

: あと何日で終わりという話を聞いて嬉しかった。